

# SBL 通信

第4号



2020年12月発行 仙台市危機管理室減災推進課

## SBL 各区バックアップ講習会を開催しました

11月13日から12月2日に、各区内の SBL と連合町内会長を対象とした「SBL 各区バックアップ講習会」を開催しました。

今回の講習会では、国のガイドラインや仙台市が6月に作成した避難所運営マニュアル(別冊)新型コロナウイルス感染症対策追加事項の内容を踏まえた「分散避難と避難所における感染症への対応」にポイントを置き、説明と実技を行いました。実技では参加者が3班に分かれ、仙台市が新たに避難所に配備を進めている感染症対策物資等に直接触れたり、組み立てなどを体験しました。

メインとなったプラスチック段ボールを使ったパーティション(プラダンパーティション)作りでは、班ごとに基本となる形を組立し、取扱方法やそれぞれの状況に応じた活用方法について学びました。また、受付用物資の説明では、フェイスシールドやアイソレーションガウンを実際に着用するなどし、取扱いに関する理解を深めました。

その後の質疑応答では、皆様から数多くのご意見・ご質問をいただきました。いただいたご質問等については、次の避難所運営マニュアル(別冊)の改訂や皆様の不安を解消するための方策の検討などに役立ててまいります。

(主な質疑応答を裏面に掲載しています)

日時	対象区【会場】	参加人数
11月13日(金)	若林区【七郷市民センター】	28名
11月26日(木)	青葉区【仙台市消防局】	89名
11月28日(土)	泉区【泉区役所】	99名
12月1日(火)	宮城野区 【宮城野区中央市民センター】	58名
12月2日(水)	太白区 【太白区中央市民センター】	76名



パーティションの組立



アイソレーションガウンの説明・試着



居住スペースの間隔の確認



質疑応答

### トピックス ▶ 新型コロナウイルス感染症対策物資を今年度中に配備します

現在、各指定避難所と補助避難所に感染症対策物資の追加配備を進めています。来年の3月末までにすべての避難所に配備を完了する予定ですが、品目により、納品される時期が異なりますのでご承知おきください。なお、配備後はなるべく早く地域の皆様で物資の保管場所や取扱方法の確認をしていただきますようお願いいたします。

#### ・感染症対策物資と配備時期(予定)一覧

分類	品目	数量	配備時期
避難所受付用	デスクパーティション	4枚	1~2月末
	フェイスシールド	30個	
	フェイスシールド(取替用)	120枚	
	アイソレーションガウン	30着	
	簡易レインコート	24着	
	非接触型体温計	2台	
	作業用手袋	30双	
	クリップペンシル(千本)	1箱	
	養生テープ	10巻	
	梱包用	コンテナボックス	

※指定避難所の数量です。  
補助避難所は数量が異なります。

分類	品目	数量	配備時期
避難者用	プラダンパーティション	10セット	1~3月末
	アルミマット	20枚	
	ブルーシート	30枚	
	簡易ベット	2台	
	ワンタッチ式パーティション毛布	4張 300枚	
消毒・衛生用品	アルコール手指消毒液	10本	1~2月末
	塩素系漂白剤	2本	
	ハンドソープ	6本	
	使い捨て手袋	2包	
	ペーパータオル	6包	
	ゴミ袋(大)	100枚	
	ゴミ袋(小)	600枚	
	除菌アルコールシート	50個	
雑巾	3包		

## バックアップ講習会での主な質疑応答

### Q1 新型コロナウイルス感染症患者が来た場合の対応は？

⇒ 感染症の拡大を受け、自宅で療養している方が増えております。保健所では自宅で療養している感染症患者に対し、ハザードマップにより自宅が安全な場所であれば避難の必要がない旨、周知しておりますが、指定避難所へ避難されて来た場合、速やかに専用スペースへ案内するとともに、区の災害対策本部に連絡をしてください。

### Q2 濃厚接触者や体調不良者の中で新型コロナウイルス感染症の疑いがある方が来た場合の対応は？

⇒ 速やかに専用スペースへ案内してください。その後、本人や家族から「受診・相談センター(コールセンター)」へ連絡し、症状等を話してもらいます。場合によっては、コールセンターから「帰国者・接触者相談センター」を案内され、相談センターの判断によっては、専門の「帰国者・接触者外来」が紹介される場合があります。この場合も、区の災害対策本部に連絡をしてください。

### Q3 体調不良者を専用スペースへ案内するための目安は何か？

⇒ 咳や息苦しさ、発熱(37.5℃以上)などの症状がある方は、一つでも該当すれば、体調不良者として専用スペースへ案内してください。なお、必要に応じ救急車の要請について、本人に確認してください。

### Q4 体調不良者の家族にはどう対応するのか？

⇒ 基本的に、体調が良好である家族は一般のスペースとなります。ただし、体調不良者の介助が必要な場合や本人たちが同室を希望する場合は、専用スペースへご案内ください。この際、家族も体調不良者と同様に、一般のスペースへの出入りに制限が必要となりますので、ご注意ください。

### Q5 体調不良者・濃厚接触者は1人1部屋か？

⇒ 国や県のガイドラインでは1人1部屋を推奨しています。それが困難な場合は、パーティションの使用や間隔をあけるなど避難所の全体スペースも考慮して距離をとるよう努め、換気に留意してください。

### Q6 体調不良者や濃厚接触者の方の誘導や対応に不安がある。各避難所に保健師などの専門家を配置できないか？

⇒ 仙台市内の保健師数は限られており、配置は困難です。ただし、避難が長期化する場合は、応援自治体からの派遣などにより保健師が巡回する場合があります。

### Q7 非接触型体温計は寒い場所では正確に測れないのでは？

⇒ 周囲環境の温度に左右されるので、15℃から40℃までの環境で使用してください。寒い場所では、直前まで本体を布にくるむなど15℃以上に保ち測定を行ってください。また、体の表面が冷たい場合は、衣服で覆っていた部位などを測定してください。

### Q8 養生テープは体育館の床に自由に貼っていいのか？

⇒ 学校によっては、床に直接養生テープを貼れない体育館があります。一律ではないので、各避難所の施設管理者(校長先生など)に確認してください。

### Q9 世帯ごとの居住スペースを区分するブルーシートとパーティションの使い分けはどうするのか？

⇒ 厳密な使い分けのルールはありませんが、高齢者など、重症化するリスクの高い方に優先してパーティションを使用することを想定しています。地域により想定される避難者数や年齢層が異なりますので、各避難所運営委員会で話し合って決めてください。

## 防災・減災ウェブサイト「仙台防災ナビ」を開設しました！

これまでSBLの皆様にご利用をお願いしておりました「みんなの訓練サイト」がコンテンツを充実させ、日ごろからの「災害への備え」を確認することができる新たな防災・減災ウェブサイト「仙台防災ナビ」としてリニューアルしました。本ウェブサイトでは、災害時の適切な避難行動についての解説や水害・土砂災害等の災害別ハザードマップを掲載したほか、防災・減災に関する動画を配信しています。また、「みんなの訓練サイト」にあった専用Facebookも、「仙台防災ナビ」内に引っ越しし、引き続き防災訓練などの様子を投稿できるようになっています。手軽に見られるウェブサイトとしてぜひ、ご活用ください。



まずは検索

仙台防災ナビ

OR



閲覧用 QR コード

③ 減災推進課が内容を確認後、Facebookに投稿されます。

### Facebook に投稿する場合

① 「地域の防災・減災の取り組みについて送信する」ボタンをクリックする。

② 必要事項を記入し、「送信内容を確認する」「送信する」ボタンをクリックする。



〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号 仙台市役所本庁舎2階 仙台市危機管理室減災推進課  
TEL 022-214-3109(直通) FAX 022-214-8096 Eメールアドレス : kks000130@city.sendai.jp

掲載を希望する情報や活動などがありましたら、是非ご連絡ください！ 活動報告やご意見・ご相談もお待ちしています！！